

第2号議案

授業名人の任命について

別紙のとおり、授業名人を任命する。

平成27年4月8日提出

教 育 長 林 雅 則

提 案 理 由

授業名人を任命したいので、この案を提出する。

授業名人の任命について

1 授業名人について

児童生徒が常に学習に意欲を持ち、わかる喜びを感じる授業を実践し、他の模範となる教員を「授業名人」に任命して、児童生徒の学力向上を図る。また、公開授業や研修での講師等を務め、若年教員などの指南役としても活動する。

授業名人制度を創設した平成19年度以降、現在までに171名を任命しており、今回、新たに27名の授業名人を選考したい。

2 授業名人候補者の選出について

(1) 候補者の選出と評価

候補者選出のため、県、市町教育委員会の指導主事（県立学校については県教委）が協議して候補者をリストアップし、教育庁指導主事が授業評価を行った。

(2) 選考の観点

候補者については、「授業内容の工夫」「発問の仕方・内容」「児童生徒への対応」「適切な評価」「板書の技術」「時間の使い方」など、9項目20観点で授業評価を行った。

(3) 選考委員会

企画幹（学校教育）を委員長とし、義務教育課、高校教育課、学校教育政策課の課長・参事で構成する選考委員会で27名の授業名人候補者を選考した。

3 現在、学校で活動している授業名人数（校種・教科別）

校種	合計	国語	社会	算数学	理科	外国語活動 英語	5教科	特別支援	その他
小学校	56 (11)	16 (3)	2 (0)	7 (1)	4 (0)	1 (1)	30 (5)	3 (2)	23 (4)
中学校	35 (8)	4 (1)	4 (1)	5 (1)	4 (0)	9 (2)	26 (5)	0 (0)	9 (3)
高等学校	46 (7)	7 (0)	5 (1)	8 (2)	4 (0)	8 (1)	32 (4)	0 (0)	14 (3)
特別支援学校	11 (1)							11 (1)	
合計	148 (27)	27 (4)	11 (2)	20 (4)	12 (0)	18 (4)	88 (14)	14 (3)	46 (10)

()は今回の候補者数 ※内数

※授業名人者数は退職者（4名）、管理職・機関等職員（46名）を除いている

4 授業名人の活動について

- (1) 他校や他学年における授業実践協力（管理職、機関等職員も含む）
- (2) 模範授業として公開授業を実施
- (3) 授業を収録しDVDや教育研究所の通信型研修として配信
- (4) 研修講座等の講師、授業力向上チーム委員等

5 授業名人候補者について（別紙参照）

6 授業名人任命式について 4月22日（水）14：30～ を予定

授業名人候補者(案)

連番	区分	姓名	年齢	性別	市町名	学校名	教科(科目)	名人のポイント
1	小	高間 恵美	49	女	福井市	中藤小	国語	活気のある授業を行うために、「ことわざカード」などの独自で作った教材教具で授業に引き込み、笑顔とほめ言葉で児童に発言を促す工夫をしている
2	小	川端 英郁	48	男	大野市	有終南小	体育	なわとびの授業では短時間に多く跳ぶためのコツを児童自身に考えさせるなど、児童が取り組みやすい課題を設定する名人
3	小	石倉 玲子	50	女	勝山市	成器西小	英語	児童の学力と担任の力量の両方をアップさせるために、英語が専門でない担任にも授業中に英語で発言する場面を作る工夫をしている
4	小	渡辺 春美	49	女	あわら市	金津小	特支	全員に学習に参加させるために、苦手な分野が異なる特別支援学級の児童一人一人に応じたプリントを作るなどの工夫をしている。
5	小	鈴木 留実	40	女	坂井市	三國北小	算数	児童に学びがいを感じさせるために、難しい課題を与えてそれを解くための時間を確保して児童に他の児童に教える役を与えている。
6	小	嶋田 暁子	42	女	坂井市	春江東小	小学校全般	単調になりがちな道徳の授業でも、事前アンケートをICTを駆使して示したり、保護者からの感謝の手紙を使うなどして、授業に児童を引き込む工夫をしている。
7	小	山本 貞郎	46	男	鯖江市	借陰小	小学校全般	子どもの学び意欲を高めるために、プロジェクターを使って課題となる部分を隠して資料を投影するなど、見せ方を工夫している。
8	小	水嶋 直美	48	女	越前町	朝日小	国語	単元のどこを学習しているのかを常に把握させるため、教師や児童がこれまでに模造紙に書いてきた記録を教室中に掲示したり、流れがわかるよう板書を工夫している。
9	小	山内 朋江	48	女	南越前町	南条小	国語	意欲や理解力の低い児童にも授業に参加させるために、書画カメラを多用して、今テーマとなっている箇所を常に投影する工夫を行っている
10	小	小林 英典	49	男	越前市	岡本小	小学校全般	時間配分を工夫することで、児童が自分のことを話す時間「ミニトーク」を毎時間設け、児童全員の話す力を高めている。
11	小	三宅 直美	47	女	若狭町	三方小	特支	集中力が持続することが苦手な特別支援学級の児童に対して、授業の流れがわかる板書や本時のねらいとめあてを確認できるボードを掲示するなどの工夫をしている
12	中	見崎 洋之	47	男	福井市	安居中	数学	授業の目標を実現させるために、学校のつくりを生かして、教室とオープンスペースの両方を同時に使用して、活動の場を分けるなどの工夫をしている
13	中	鈴木 三千弥	47	男	福井市	至民中	英語	教科書にとらわれすぎず、生徒のふだんの生活場面など、常に生徒自身に関わりが深い題材を取り上げ、英語で自分の意見を表現する場を数多く設定
14	中	田上 由美	48	女	永平寺町	永平等中	音楽	生徒に自ら進んで歌おうという意識を持たせるために、生徒に楽譜を読む指導を丁寧に行い、楽譜から作者の意図をくみ取らせている
15	中	田中 月子	48	女	あわら市	芦原中	英語	英語に親しませるために、教師自身が英語しか使わずに授業を行ったり、平易な表現を組み合わせれば話せる課題を生徒に与えるなどの工夫をしている
16	中	水上 真一	48	男	坂井市	坂井中	技術	失敗がなくかつ安全な作品づくりを行わせるために、全体指導や個別指導を使い分け、目録の高さや見るべき視点などアドバイスの内容を工夫している。
17	中	千葉 明美	49	女	敦賀市	松陵中	音楽	生徒に自信を持って歌わせるために、生徒のつまづきを見極めてそれを解決するポイントを与える名人
18	中	清常 徹	45	男	高浜町	内浦中	国語	生徒に挙手や起立をさせて指示の定着を確認するなど、一人も授業の流れから取り残さない、全員参加のための手立てを講じている
19	中	前田 俊一	48	男	おおい町	名田庄中	社会	授業の初めにグーグルアースを使うなどICTを駆使した資料を提示して生徒の心をつかみ、授業に引き込む
20	中	森島 郁夫	46	男	県立	高志中	地歴(地理)	文系では論述の答案を作成するポイント、理系では地図や資料の読み取り等、それぞれの特性に応じたきめの細かい指導を行っている
21	中	澤田 博幸	47	男	県立	高志中	数学	常に別の解法を用意しており、課題に対して生徒が正解に到達しても、生徒に新しい考え方を提示し考えをさらに深める
22	高校	磯野 和之	47	男	県立	武生高	外国語(英語)	進学校という特性から教科書だけの単調になりがちな英語の授業で、進学実績を上げながらも、動画や写真を駆使するなどして、英語嫌いを作らない工夫をしている
23	高校	松宮 和代	49	女	県立	美方高	数学	頭の中だけでは理解しにくい空間図形を扱う授業において、実際に多面体を作成させて親しみやすくするなど、生徒の興味・関心を高める工夫を行っている
24	高校	南谷 和浩	46	男	県立	若狭東高	工業	目に見えないために難解な電氣的現象を理解させるために、ネジや矢などの単純な物体を書いたり、印象的な色遣いを行ったりして、板書を工夫している
25	高校	小川 靖子	47	女	県立	福井商業高	商業	生徒を中学生の先生役にして授業をさせるなど、生徒が勉強せざるを得ない状況を作り出す、学習の場を作る名人
26	高校	西口 和代	43	女	県立	武生商業高	家庭	生徒の意欲を引き出すために、生徒が日常感じている疑問から授業のテーマを作ったり、講義だけで終わらずに実験を行ったりして、単調にならない工夫をしている
27	特支	一 悦子	51	女	県立	ろう	特支(聴覚)	身体の動きでことばのリズムを表現するなど、聴覚障害児が分かりやすいサポートを行い、生徒の聞く力と発言する力を伸ばす